

特定非営利活動法人 大学コンソーシアムおおいた

事業名	グローバル“力”利活用と多文化共生のまちづくり 「OITA学生提言フェスタ」「企業と留学生の交流フェア」			
実施期間	「OITA学生提言フェスタ」2013/11/16 「企業と留学生の交流フェア」2013/12/8			
場 所	「OITA学生提言フェスタ」ホルトホール大分 「企業と留学生の交流フェア」レンブラントホテル大分			
参加者	外国人留学生	地域住民・企業等	その他	合計
	249 名	102 名	45 名	396 名

＜実施内容＞

大分県内には多くの留学生が在住している。その留学生のもつ「力」を、地域の国際化や地域活性化に役立てるよう、提言の場と交流の場を創出した。
留学生が地域で、その力及び国際理解の面で広く深く認知されれば、多文化共生の地域づくりにつながり、加えて留学生の就職支援も促進され定着化、活性化につながることを期待。



スピーチコンテストと地域提言シンポジウムの
出場者の集合写真



民族衣装展の展示の一部



企業と留学生の交流フェア、
ブースセッション会場の様子

11月16日は「OITA学生提言フェスタ」として、①留学生によるスピーチコンテスト ②学生による大分地域提言シンポジウム ③世界の衣装展 を開催。
①のスピーチコンテストでは県内各大学の留学生7名が、日本語で日ごろ考えていることや体験に基づく想いをスピーチし、別府溝部学園短期大学の馬鳳春(マーフォンチュン)さんが最優秀賞に選ばれた。
②の大分地域提言シンポジウムでは、4名の留学生と日本人学生1名とが大分をもっとよくなるためのアイデアを発表し、意見交換を行った。
③の世界の衣装展では、7か国の展示のほか、民族衣装のファッションショーを開催し好評であった。
以上、アンケートでもご意見をいただいたとおり、留学生の考えを知る場となり、また国際理解を深めるよいイベントとして盛況であった。
12月8日は「企業と留学生の交流フェア」として、第一部に外国人社員を雇用している企業と、大分で働いている元留学生の先輩とのトークセッション、第二部では企業が留学生と直に交流できるブースを出展、留学生は自由に各ブースを回った。
体験談を聞くことと、ブースセッションにおいて、企業側も留学生側も相互理解が深まり、将来の活用や就職にむけてのきっかけができる場となった。

<参加者からのコメント>

レ ホー フォン タオ さん(ベトナム) / LE HO PHUONG THAO

「OITA学生提言フェスタ」のスピーチコンテストに出場。
ベトナムのことと日本の想いをみんなの前で発表することが出来て、嬉しかったです。
国際交流として他のいろいろな国の留学生と話したり、話を聞くことができ、とても勉強になりました。今後も日本語にも勉強にも頑張っていきたいです。

チャンタラチャムノング セックサン さん(タイ) / SEKSAN CHANTARACHAMNONG

「OITA学生提言フェスタ」の地域提言シンポジウムに出場。
日本語は難しいし、上手に話せないけれど、大分のことが本当に好きなので、便利な街に変えてしまうのではなく、すでにある大分の良い所を言いたい、との想いで参加しました。
とても緊張しましたが、回りの方々やコーディネーターの先生に助けられて、よい経験ができました。